

旅行取扱状況の概観（平成27年10月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比101.5%、学生団体は同109.5%と前年を上回り、団体旅行合計で同103.9%と前年を上回った。企画旅行については同89.3%、個人旅行についても前年比87.3%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比92.9%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比83.3%と下回ったが、学生団体は同114.8%と前年を大きく上回り、団体旅行合計で同103.1%と前年を上回った。企画旅行については同114.8%と前年を大きく上回り、個人旅行についても同103.8%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、109.0%と前年を大きく上回った。

外国人旅行は、前年比115.2%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の10月の総取扱額は前年比104.1%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は大型の職場旅行の取り扱いにより、前年比102.5%、学生団体は、複数の大型の修学旅行の取り扱いにより同109.5%と前年を大きく上回った。その結果、海外団体旅行合計で同104.6%と前年を上回った。

国内団体については、一般団体は前年に実施した大型の職場旅行の取り扱いの反動や取り扱い団体数の減少により、前年比83.5%と下回った。学生団体は取り扱い団体数の増加や大型の大会の取り扱いにより前年比114.7%と大きく上回り、国内団体旅行合計で前年比103.3%と上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比109.7%と前年を大きく上回った。方面別取扱人数の状況では、北海道・九州を除き全般的に好調であり、引き続き、北陸、関西、南紀、中国四国は好調を維持している。

ホリデイは、方面別取扱人数の状況では、ミクロネシアが引き続き好調を維持しており、全方面合計では前年比111.8%と大きく上回ったものの、取扱額においてはイスラム国等の政情不安の影響もあり単価の高いヨーロッパ方面が大きく減少し、前年比85.1%と前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、イスラム国等の政情不安の影響もあり、取扱額で前年比92.0%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北陸・関西、伊勢・南紀方面の販売が堅調に推移し、取扱額で前年比116.1%と前年を大きく上回った。

バス旅行部門は、西日本方面での販売が好調であったことや、前年に比べ台風などの自然災害の影響もなく、取扱額で前年比116.6%と前年を大きく上回った。

テーマ旅行部門は、国内のひとり旅や女性限定の商品が好調に推移し、前年比109.7%と前年を大きく上回った。

以上